

# 日本英学史学会 中国・四国支部

## ニューズレター

No.74

*Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter*

<エッセイ>

### キーワード法

馬本 勉

教師も生徒もやる気に満ちた新学期。「英語は苦手だけど頑張ります」「難しいけど一生懸命単語を覚えます」こうした決意が長続きするよう、何とか支えていきたいと毎年思う。大学生はよく、「高校のときより単語力が落ちた」と言う。入試のときにガムシヤラに覚えたはずなのに、大学で読むテキストには、次々と新しい語が出てくる。「地道に覚えよう」「文脈の中で覚えよう」なんて励ますけれど、だんだん意欲を失う者も出てくる。

こうした状況を何とかしたいと始めたのが「キーワード法」だ。この「キーワード」、我々が論文や科研費の申請時に用いるものとは違う。語の意味を覚えるための「カギとなる母語」と言えるだろうか。学んでいる言語の未知語（目標語）の語義と、その語の音に近い母語（キーワード）との間に、視覚的な意味の関連づけを行って記憶にとどめようという方法だ。

英語話者がスペイン語を学ぶとする。目標語である *pato* は英語で *duck* の意味だ。ここで *pato* に近い音を持つ英語の *pot* を「キーワード」とする。これらをどう視覚的に関連づけるかという、頭に *pot* をかぶった *duck* を思い浮かべるといふ。なんとも不思議な絵だが、こうして覚えると、単純な反復学習より記憶に残りやすいという。(Atkinson, R. C. (1975). Mnemotechnics in second language learning. *American Psychologist*, 30, 821-828. より)

我が国で古くから親しまれてきた「語呂合わせ」もこの類だろう。手許の『英語記憶術』（外国語学協会編，中外出版協会，1911）には、「**water** 水中には魚多数住めり」「**October** 十月は収穫時にして稲を刈入れしも置くと場を塞ぐ」といった例がある。この手のものでは、**dictionary** を「字引書也」と覚える例が有名だ。初出かどうかは定かでないが、大正2年の『鉄道と記憶術』（吉村松蔵著，鉄道青年会本部，1913）に出ている。同書には「**Recorder** 速度計器。速度を計る機械を發明するとは利口だ」「**Conductor** 車掌。発車鈴鳴るのに車掌がコンダクター」の例もある。同著者の『最新実用記憶術』（吉村松蔵著，大野松太郎，1917）には、「**Eminence** 高位栄達となるべき其の意味は年数にも依るものなりと結合し意味年数より正則の発音を再起すべし」といった例が多数紹介されている。

海外の実証研究もある。我が国に古くからある学習法でもある。ならば私もと、学生にとって見慣れない語や、他の語と間違えやすい語の導入や確認に用いている。最近授業で紹介した例を挙げてみよう。

**Gadget** は、パソコンの雑誌などでよく見かける「小型装置」のこと。こんな装置を考案してみた。「蛾の形をした小型の秘密機器。ジェットエンジンで素早く飛び回り、情報を収集する。」名付けて「蛾ジェット」。**Arthritis** は「関節炎」。**Athlete** と間違える学生もいる。そこで関節炎でつらそうな人を思い浮かべ、「あ一つらいです」と覚えてみては、と言ってみる。**Psychology** 「心理学」は **philosophy** や **physical** などと混乱しやすい。意識と行動の科学である「心理学」。ある年配の男性研究者は「サイコロの目の出る確率と人間行動の関係を研究した」ということを想像してみようか。そう、「サイコロ爺」だ。単なる語呂合わせではないよ、頭の中でイメージするんだよ、と言いながら、アニメーション付きのスライドを作ったりもする。

私自身、日々楽しく実践を重ねている。ただ一つ、学生諸君の冷たい視線を除けば。 (県立広島大学)

## 日本英学史学会 中国・四国支部

### 平成25年度総会・第1回(通算68回)研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成25年度支部総会、及び第1回(通算第68回)支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、2本の研究発表が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日時： 2013年5月25日(土) 12:30受付開始

会場： 安田女子大学 9号館 9522教室(5階)

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6-13-1 TEL 090-1185-4814 (会場担当 松岡携帯)

参加費： 会員、非会員とも無料

#### 支部総会(13:20~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、平成25~26年度役員選出、新年度活動計画、他

#### 開会行事(14:00~14:10) 支部長挨拶

#### 研究発表①(14:10~15:20)

##### 「大正10年の英語授業視察(福岡・佐賀・長崎)について：防長教育会委託學事視察復命書より」 隈 慶 秀(福岡県立明善高等学校)

「防長教育会委託學事視察復命書」は、山口県防長教育会より委託をうけた近藤春和(山口県立山口中学校教諭)が大正10年11月に福岡・佐賀・長崎の3県にまたがって中学校4校(視察学校 福岡県立中学修猷館、福岡県立福岡中学校、佐賀県立佐賀中学校、長崎県立長崎中学校)の英語授業を視察した学事復命書である。「中学校上級ニオケル英語教授ノ状況及上級学校入学受験準備ノタメノ施設」を視察事項としている。具体的には中学4年・5年を対象に、(一)英譯読、(二)文法作文の詳細な英語授業観察と、(三)時間配当及特別施設の計三項目について記録されている。本発表では英語授業発達史の観点から本復命書を考察する。

<休憩>

#### 研究発表②(15:30~16:40)

##### 「京城中学校の英語教育について：中学修猷館との関わりを中心に」 安 部 規 子(有明工業高等専門学校)

京城中学校は、在朝鮮日本人の教育のためにできた最初の中学校として明治42(1909)年に創立された「京城民団京城中学校」が「朝鮮総督府中学校」など数回の改称を経たものである。慶熙宮(けいききゅう)という宮殿の跡地という恵まれた立地に立つ同校には、朝鮮総督府が手厚い待遇を与え「朝鮮の学習院」とも呼ばれていたとのことである。その初代校長は、福岡県の中学修猷館の初代及び第4代館長であった隈本有尚(くまもと・ありたか)で、中学修猷館離任後、長崎高等商業学校長、文部省視学官、英国留学を経て着任した。隈本は英語教師に英国人を1名配置し、格調高い雰囲気の中、修猷館と同様に英語を重視した教育を行った。教員のレベルも高く、内地では中学校の校長や高等学校の教授を経験した教員が招致された。修猷館にゆかりがある教員も多く、第5代館長の小寺甲子二や後の広島高師教授須貝清一も教壇に立っている。本発表では京城中学校の英語教育について、『朝鮮総督府及所属官署職員録』や創立当初の生徒の回想録、朝鮮総督府発行の「教科用図書一覧」などからの調査結果を報告する。

<感想記入>

#### 閉会行事(16:45~17:00) 副支部長挨拶、写真撮影

#### 懇親会(18:00~20:00)

とり楽 毘沙門店(広島市安佐南区大町東4-10-28 TEL 082-879-3166) 会費 3,000円

※アストラムライン「毘沙門台駅」(安田女子大前の「安東駅」から広島市内中心部へ向って1駅)すぐ

研究例会会場への交通案内 (以下、安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/> より)



会場の9号館は、上図21番の校舎です。アストラムライン安東駅からは、専用エスカレーター(24番)をご利用ください。

## 中国・四国支部ニュース

>> 事務局よりお知らせとお願い

### ①名簿の改訂について

「会員登録内容の確認について」を同封しています。変更のある方は5月22日(水)までにお知らせください。合わせて、総会・例会・懇親会(5月25日)の出欠についても、ご回答をお願いいたします。

### ②会費の納入について

5月25日(土)の研究例会へご参加の方は、平成25年度年会費(一般3,000円、学生2,000円)を受付でお支払いください。その際に『英学史論叢』第16号、および今年度の名簿をお渡しする予定です。

ご欠席の方へは、例会終了後、今年度の紀要、名簿とともに、年会費用の振込み用紙をお送りします。

昨年度未納の方へは、2年度分をご請求申し上げます。続けて未納の場合は、2年目の年度末をもって「自然退会」となりますので、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

## 英学史情報ひろば

◇第150～152回「広島ラフカディオ・ハーン研究会」ニュース(2013年2月～4月)[風呂鞆先生より]

◇江利川春雄(2013)。「明治期の小学校英語教授法研究(4): 柰田與惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察」『和歌山大学教育学部紀要(人文科学)』63, 19-25.

◇竹中龍範(2013)。「崎山元吉『外国語教授法改良説』をめぐって」『言語表現研究』(兵庫教育大学言語表現学会) 29, 1-11.

◇日本英学史学会ホームページ

<http://eigakushi.org/>

英学史<情報発信地>: 会員から提供された英学史関連情報が掲載されています。イベント情報や、新聞に掲載された記事など。最近のものは、「黒船来航の貴重な絵巻」「佐久間象山、蘭和辞典作成に奔走」「Famed writer's English lessons published」など。

## 英学史学会全国ニュース

>> 「日本英学史学会報」No.130(5月1日付)

《史に聴けば》(27)

L.L. ジェーンズ研究の現状と課題(西 忠温)

《英学史散策》

洋学史(江戸) 散歩(6)

—古賀謹一郎, 蕃書調所あと—(堀 孝彦)

明治期のグラスゴウ大学留学生・荘田泰蔵

—名誉博士号の授与—(加藤詔士)

《支部活動報告》 ※中国・四国支部からの報告として、ニューズレターNo.73の発行、平成25年度第1回支部例会の日程などが掲載されています。

>> 第50回記念全国大会

平成25年度の日本英学史学会全国大会は、9月28日(土)～29日(日)、慶応義塾大学三田キャンパスにて開催。特別講演「英学の終焉と学生の英語力の低下: それでも英学の終焉は進歩だったか」太田雄三氏(マッギル大学教授)、資料展覧(慶応義塾福沢研究センター)ほか。

**広島英学史の周辺(40)** 年4回のサイクルでニューズレターを発行するようになってから40号を迎えました。早いもので丸10年、事務局兼広報を担当して参りました。皆様の温かいご支援に心よりお礼申し上げます。▼立場上、各方面から様々な「お問い合わせ」をいただくことがあります。即答はできなくても、分かる範囲、調べられる範囲で、できるだけお答えするようにしています(が、時間がかかってごめんなさい)。答えようとする私のほうこそ、質問者に感謝したくなるほど、勉強になることばかりです。それにしても、「あいつはこんなことに興味を持っているだろうから、尋ねてみよう」という質問者の予測は、だいたい当たっているから不思議です。▼では皆様、春の例会でお会いしましょう。(馬)

日本英学史学会 中国・四国支部ニューズレター No. 74

2013年5月9日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 竹中龍範)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学 馬本研究室内

電話&FAX: (0824) 74 - 1725 (直通)

e-mail: eigaku@tom.edisc.jp

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部

Newsletter No.74